

## 図書館協議会委員（3名）からの意見

## （委員1）

## 1. 図書館基本計画の策定について

図書館運営やサービスに関する基本的な考え方や具体的な施策・事業・推進体制など定め、図書館がどのように運営、サービスを展開していくかの方向性を示すもので、これが策定の目的は図書館の役割と機能を明確にし市民に提供するサービスを向上させるためであり、市民のニーズに応える図書館サービスを提供するため図書館を地域社会における情報拠点として発展させるため、図書館職員の業務を効率的に進めるためであり、この基本計画は図書館が地域社会において、より重要な役割を果たす羅針盤となるもので、浜田市において早急に策定されたい。

## 2. 館長の位置づけについて

図書館館長は、館の運営から経営に至るまで、また職員の人事権を持ち「図書館の顔となる。」存在である。従って、課長相当職以上の位置づけが求められる。

## 3. 館長はじめ職員の司書資格の取得について

社会教育に従事する者は、資格が必要であり、館長をはじめ職員の取得が求められる。まちづくりセンターには、社会教育士が配置され、図書館には司書が配置されることである。

## 4. 図書館の所管を教育総務課から社会教育部門へ移管

図書館は、社会教育の最も重要な施設であるが、現状ではまちづくりセンターが社会教育の中核となっており、図書館の位置づけが明確でない。従って、所管を社会教育部門へ移管されたい。

## 5. 利用者の分析が求められる

図書館づくりは、「いつでも」、「どこでも」、「だれにでも」対応できることが求められるが、特に「だれにも」に対する取り組みが少ない様に思われる。従って、年代別・地域別・興味・関心の角度から利用者の分析が必要と思われる。

## 6. 企画展等の開催について

入館者を増やすには、色々なイベントや催し（企画展）が大切であり、その取り組みが少ないようである。また、定期的で開催される催しも少なく「映画会」、「コンサート」、「おはなし会」など積極的に取り組まれない。

## 7. 「図書館だより」の全家庭配布

旧那賀郡については、各まちづくりセンターに配布されているが、これを各家庭配布として頂きたい。

### (委員2)

## 8. 意見取下げ

## 9. 専門職員の配置と育成

### (1) 経験年数を積んだベテラン職員の育成

浜田市立図書館では数年で異動となる正規職員が多い。

レファレンス技能は知識と経験により培われることを踏まえて人事異動を考慮

### (2) 弥栄図書館への専任職員の常時配置

弥栄図書館では公民館職員による兼務となっている。

公民館図書室ではない位置づけであるのであれば専任職員配置が望ましい。

## 10. 図書館振興計画（5カ年計画）の作成

浜田市の施策、社会教育施策を踏まえて中期計画を作成し、計画的に資料収集運営を行う必要がある。子ども読書活動推進計画に盛りされていない細事業の目標を設定し、年度ごとに検証、評価、改善を図る必要があると思う。

## 11. 図書館 PR、広報の拡大

### (1) チラシ、ポスターの拡大配布

浜田市立図書館を利用したことがない、図書館を知らない、という事実は図書館の広報ができていないことの現れでもある。図書館未利用者を呼ぶための広報を行うことが必要であると考えられる。

スーパーなど大勢の市民が集まる店舗、居酒屋など図書館 PR がなされていない場所へのポスター掲示、チラシ配布を行うなどの外部への積極的な PR を行うこと。

### (2) 各種イベント、講座の開催

①管内イベント、講座の充実～伊丹市立図書館のような多彩な催しの実施

②館外イベントの実施～「一箱古本屋」、「マルシェ」、各種産業まつりへの出店など

## 12. 職員体制の充実と整備

上記の各種事業を行うためには職員体制を充実、整備の必要がある。

そのための方策として以下のとおり提案する。

### (1) 館長について

図書館事業を行うことができるよう権限を拡大すること。

できれば予算権限のある正規職員化、課長職以上の役職とすることが望ましい。

## (2) サービスの見直し

浜田市立図書館としてのサービスを見直すこと。

現在の浜田市立図書館は開館日が多く、開館時間が長い。

このため職員の負担が大きく、本来図書館にとって重要なサービスが行いにくい状況と考えられる。図書館は単なる「貸本屋」とは異なり、「レファレンスサービス」といった重要な業務を行わなければならない。また上記のような業務や各種イベントを行わなければならない。

こうした図書館としての機能を強化するためにも、サービス体制や図書館業務を行うための職員体制の見直し、必要であれば職員の増員（特に正規職員や専門職）を行うべきである。

## (委員3)

13. 図書館は知識の宝庫なので、社会教育の発信基地となるとなる場所。

図書館の発展は地域の文化の発展とも繋がるので、まだ来館したことがない人が来館する工夫（イベントや行政とタイアップした講座等）が必要と考える。

14. 以前からの課題だが、子どもコーナーに子どもの本について相談できる司書さんがいてくださるとありがたい。
15. 司書職が常勤となり別の部署への移動がない採用となればよい。

以上、3名の委員からの意見。